

活動報告

団体名	つなぎ t e おおむた
活動名	被災者の心のケアのためのサポーター育成等活動
活動期間	2020/09/01～2021/03/31
活動の成果	<p>【支援する側の意識の高まりを感じた】傾聴カフェ参加にお声がけしたボランティア傾聴団体さんは、これまでは依頼者からの申し込みがあって、指定の場へ出向いて行くというスタイルの活動のみ。「自分たちで場を設定して、参加を呼びかけるといった初めての経験にドキドキもしたが、大きな学びとなった。依頼者との関係は今でも続いており、この活動をきっかけに、自分たちから市民の中に出ていく積極的な活動も始めてみようと考えている」という感想をいただいた。炊き出しに関わっていただいた団体さんたちは、手慣れた団体からノウハウを伝授され、「もう二度と被災をしたくはないが、それでもまた次に起こった時には、今度は自分たちがリーダーとなって地域の人たちを誘いながらお腹と心を温める食の提供を行えると思う。」「普段は食に関する活動をしているわけではないが、いざとなればやれることはいろいろとあるんだとわかった。」と、活動当初とは全く違う自信に満ちた感想をくださった。また地縁組織の方は「こんな大変な時に地元がいざこざを起こしてしまったことが我ながら悔しい。理解しあうのにはまだまだ時間がかかるが、開かれた会議の場での討議、冷静に整理、とアドバイスしてもらったことを忘れずに地域の繋がりづくりに努めたい」と決意をお伝えいただいた。また、サポーター養成講座では、これまで自分事としてとらえられていなかった「災害」「被災」を体験したことで、「支援」「受援」というキーワードへの関心の高まりを、毎回の講座参加状況（年齢層や職業の広がり、早期の申し込み、アンケートへの記載量の多さ）から受け取ることができた。「コロナが落ち着いたら、地域デビューします！」の個人の声と、この講座で知り合った同士のグループ結成が力強い。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>皆さまにお寄せいただいた浄財をもとに、大牟田市での支援活動を行うことができました。当法人は、東日本大震災・熊本地震発災後の支援活動で得ることのできた学びを地元大牟田に活かし、市民の支援力と備災力を高めようとの思いで、当時の活動にかかわった防災士を中心とする仲間で立ち上げ「もしもに備えるいつもをサポート」を合言葉に活動を行ってきました。今回の被災で、さらに活動を活発に広く深く行いたいと思っていたところ、ボラサポの助成をいただくことができ、思いを行動につなげることができました。何よりも大切な「命・心」を守りあえる大牟田になるよう、今後も「知る・備える・繋がる・やってみる・振り返る」これらの活動を繰り返していきます。本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

